

森づくりが進んでいます やまがた絆の森プロジェクト



11月3日、家具メーカーの朝日相扶製作所、白鷹町、山形県が協定を結んで森づくりに取り組む「やまがた絆の森プロジェクト」の今年度2回目の活動が、白鷹町ふるさと森林公園で行われました。6月の作業に引き続きブナ林の下草刈りを実施した後、なめことしいたけの植菌を体験しました。来年は下草刈りの範囲を広め、さらに森づくりをすすめるとともに、植菌したキノコの収穫や炭焼き体験などを予定しています。

今年もおいしい新蕎麦ができました のどか村と滝野で「そばまつり」



11月9日、のどか村において「のどか村そばまつり」、滝野交流館において「滝野そばまつり」が開催され、白鷹の新蕎麦を味わおうと町内外から多くのかたが来場しました。どちらの会場でも、次々と入る注文に、地元の蕎麦打ち職人が自慢の腕をふるっていました。中には県外から足を運んだかたもあり、訪れたひとたちは、打ちたての新蕎麦を香りとともに味わっていました。

自然エネルギー発電の仕組みについて考える 科学工作教室を開催



11月15日、町エネルギー戦略会議副会長の竹田久次さん（滝野）が講師となり、蚕桑放課後子ども教室「科学工作教室」が行われました。参加した小学生約20名は、竹田さんからペットボトルを使った風力発電装置の作り方を教わりました。扇風機などで手作りの風車に風をあてるとモーターが発電し、LED電球が点灯。発電量はわずかでしたが、電球が点灯すると参加した子どもたちからは歓声が上がりました。

自然災害を環境面から考えよう 白鷹町環境フォーラム



11月24日、パワーセンターにおいて白鷹町環境フォーラムが開催され、自然災害を環境面から考えようと、三陸EM研究会代表の足利英紀さん（気仙沼市）を講師に迎えて講演をいただきました。東日本大震災後に津波で流出した大量の魚による悪臭や水田をEM（有用微生物）を活用して浄化してきた事例など、被災地の復興におけるの第一歩にEMが大いに役立ったことが紹介されました。

町民バドミントン大会

11月10日 荒砥高校体育館

○男子Aクラス

優勝 飯沢大介・原田和也
2位 塚本保昌・塚本昌志
3位 小形欽也・佐藤孝志
樋渡 翔・鈴木敏広

○男子Bクラス

優勝 小原和彦・鈴木徳仁
2位 志賀 敦・高村恵美子
3位 荒木 凌・塚本雄大

○女子ダブルス

優勝 佐藤 香・保科友美
2位 岡田明菜・田井地友美
3位 馬場梓織・樋口悠香
榊原春佳・広谷英里子

○少年少女

優勝 小形花奈・菅間志穂
2位 小林礼華・高橋はづき
3位 菊地彩衣来・高橋志歩

